



～We Love Nanbu J·H·S～



令和7年度 第7号

8月27日(水)

校長 西村博之

南部中学校
ホームページ
QRコード

目標実現に向け「体力」と「忍耐力」を~2学期スタート~

8月25日(月)に始業式が行われ2学期がスタートしました。その始業式では、各学年と生徒会の代表が2学期の目標を発表してくれました。発表した目標等を一部抜粋して紹介します。



(1年生代表 井上優月さん)

- ・学習時間を増やしたい。
- ・朱雀祭の伴奏をがんばりたい。
- ・バレーボールのサーブの確率を上げたい。



(3年生代表 高尾怜央さん)

- ・計画通り勉強していきたい。
- ・朱雀祭では最優秀賞を目指して一致団結して最高の合唱を作り上げたい。



(2年生代表 森彩乃さん)

- ・授業で積極的に発表していきたい。
- ・時間を意識してスムーズに活動したい。



(生徒会代表 稲葉琉さん)

- ・地域貢献プロジェクトに積極的に参加してほしい。
- ・生徒会役員選挙では学校の新しいリーダーをしっかり選んでほしい。
- ・朱雀祭は心を一つにして素晴らしい合唱を作り上げましょう。

このように、それぞれ目標を持って2学期を迎えた生徒に向けて、始業式で私から次のような話をしました。

「目標の実現に必要だと思っている力があります。1つは体力です。体調を整え心身ともに健康でないと、がんばろうと思ってもがんばるエネルギーが出てきません。食事や睡眠をしっかりとり、生活リズムを整え、がんばれる体力をつけていきましょう。もう1つは忍耐力です。忍耐力とは『困難な状況でもあきらめず、目標に向かって努力を続けられる力』のことです。でも、努力を続けることはそう簡単なことではありません。なかなか思うようにいかず、悩んだり、落ち込んだり、途中でくじけそうになったりすることがあるかもしれません。だからこそ、友達や学級の仲間、部活動のチームメイトなどの支えや励ましが必要なのです。先生たちもみんなをサポートし応援ていきます。みんなで支え合い、ともに高め合いながら努力を続け、忍耐力を鍛えましょう。」

皆さんは、新しい学期のスタートに相応しく、真剣な態度で式に臨んでいました。本当に素晴らしいかったです。

2学期は、朱雀祭、修学旅行、新人戦、駅伝大会、生徒会役員選挙などの学校行事に加え、地域貢献プロジェクトも数多く予定されています。また3年生にとっては、進路決定の大変な学期もあります。生徒会代表の稻葉琉さんが始業式で呼びかけたように、「素晴らしい南中・がんばる南中・心がきれいな南中」を目指してがんばっていきましょう。



保護者の皆様、この2学期も充実した教育活動を行ってまいりたいと考えておりますので、子どもたちの成長のためにご支援・ご協力をお願いいたします。また、お子さまの姿で気になることがございましたらいつでもご連絡ください。長い2学期ですがどうぞよろしくお願ひいたします。

語り伝えていく大切さ～8/6 平和学習～

原子爆弾の投下、そして終戦から今年で80年。本校では8月6日(水)に平和学習をおこないました。平和学習では、広島平和記念式典の中継に合わせて8時15分に黙とうをし、子ども代表による「平和の誓い」まで視聴しました。「平和の誓い」を一部抜粋して紹介します。

子ども代表「平和への誓い」

(前略) 被爆から80年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。どんなに時間が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。



(中略) One voice. たとえ一つの声でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。



その後、講師にお迎えした被爆者交流証言者の岸田英里さんから、長崎で被爆された丸田さんの話を聞きました。生徒たちは、多くの命が失われ心が傷つき、人々の夢や希望を奪った原爆や戦争の怖さ、悲惨さを改めて感じるとともに、二度と戦争を起こしてはいけないと強い気持ちを持ったようでした。そして、今後は自分たちが語り伝えていく立場としての役割も果たしていかないと自覚した生徒もいました。岸田さん、貴重なお話をありがとうございました。

平和学習後の生徒の感想

※一部抜粋して紹介します。

- ・「平和の誓い」を聞いて、相手を思いやる気持ちを忘れないようにしたいと思いました。相手のことを考え行動することは当たり前だけど、とても大切なことで、こういった思いやりが平和につながると思いました。
- ・子ども代表の「平和の誓い」に「One voice(ワン ボイス)」という言葉が出てきて、私たち一人一人の行動で世界を救えるかもしれないという思いに、すごくいいなと思いました。
- ・原爆は人々の楽しい生活や家族の未来まで奪うとても恐ろしいものだと改めて感じました。
- ・普通に、いつも通りに生活していたのが、原爆を落とされた一瞬で地獄のようになると聞いて想像もつかないし、当たり前の日常が当たり前ではなくなるんだと思うと、本当に怖いと思いました。
- ・丸田さんはお母さんを亡くしたけど、力強く生きていることにとても感動しました。
- ・今日学習したことを、身近な人たちにも話してどんなことがあったのかを伝えていきたいと思うし、私たちより若い世代にも伝えていきたいです。

真夏の戦いで南中生が大健闘～県総体・九州大会・全国大会開催～

学校の部活動や地域クラブに所属する南中生45名が県総体に出場。選手たちはこれまでの練習の成果をすべて出し切り、最後まで一生懸命戦っていました。この夏の大会で部活動引退となつた3年生の皆さん、3年間本当に疲れさまでした。これからは新たな目標に向かってがんばってください。1、2年生は9月に日田市新人大会があります。夏休みの練習の成果を発揮し、個人・チームともに目標を達成できるようがんばってください。

県総体の入賞者を紹介します

バドミントン女子…蒲生咲菜さん(シングルス優勝)、佐藤唯愛さん(シングルス準優勝)

*県総体で優勝、準優勝した2人は九州大会と全国大会にも出場。(2人は「SJひた」所属)

バレーボール女子…元木優愛さん(東和クラブで出場し3位入賞)